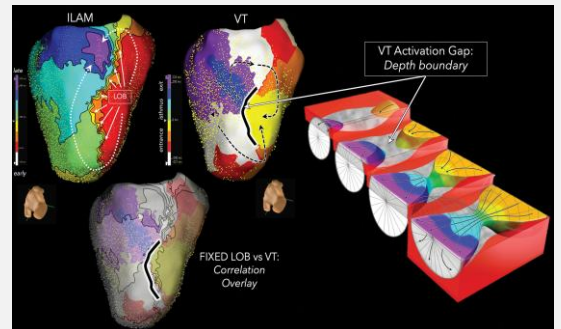
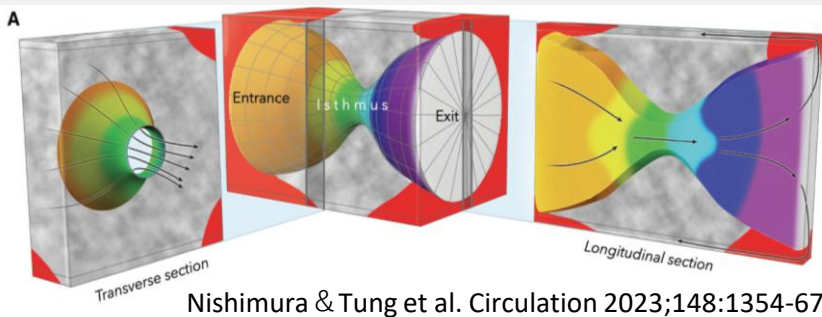




## Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

## 3次元心室頻拍の新たな概念 -双曲面モデル-

もし、瘢痕関連VTの回路がすべて平面的で心内膜側に存在していれば、治療は決して難しくないでしょう。VTのアブレーション治療が難しいのは心室筋には厚みがあるため、VT回路も3次元的で既存の平面的なマッピング技術ではその全貌が見えないところです。この3次元VTを視覚的にイメージできる新たな概念が**双曲面モデル**です。この概念により**2次元的なマッピング情報から3次元VTのcritical siteを推定することが可能**となってきています。



また、心筋の深いところや心外膜側にVT回路が存在する場合、通常の経血管的なアプローチによる心内膜側からの高周波アブレーションでは熱が届かず治療しきれません。ステーキ肉を片面だけ焼いても反対側は生焼けになってしまうのを想像するとよいでしょう。このような場合には、経皮的に心膜を穿刺するか、外科的に開窓し心外膜側からアプローチを行う必要があります。

当院では心外膜アプローチも含めたVT治療を積極的に行っていますので、お気軽にご相談ください。



文責 循環器内科 小林 典之

## スタッフ紹介 Vol.34



小林 典之

医師  
循環器内科 科長

2015年 日本医科大卒

2018年から非常勤として勤務しておりましたが、今年度より常勤としてお世話になっています。趣味は料理です。一時期ラーメンスープ作りの沼にハマリ、一晩中ガウを煮込んでいました。壁ににおいが染みつき、排水口が詰まるため現在は嫁に禁止されています。

